

分類	1-02	教科名	地理歴史	科目名	地理A		
対象学科(コース)	全学科			学年	1	単位数	2
指導目標	地理学習を通じて、現代の日本・世界が直面しているさまざまな課題を理解する。また、現代の世界や社会の出来事に対する興味・関心を引き出すとともに、2年次以降に学ぶ「世界史」および「現代社会」につながる地理的な基本的知識の定着をはかる。						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀、地図帳、地形図の活用、作業学習 ・グローバル化する現代世界(交通、情報・通信、貿易) ・世界の地形、気候、民族、産業(農業・鉱工業) ・世界の諸地域の生活・文化と環境(異文化理解) 						
内容の取扱い	教科書・地図帳を中心教材として学習する。また、知識の定着をはかるために、各種プリントを活用したり、小テストなども行う。						
指導計画	学期	指導事項	指導内容			予定時間	
	1学期 4～6月	球面上の世界と地図	球面で世界を考える 時差の計算 地図の表現方法			22	
		グローバル化する現代世界	国家とは 国家の結びつき				
		交通機関の発達と縮小する地球世界	交通機関の発達 各交通機関の特徴				
		情報・通信の発達で一体化する世界	情報・通信の発達 高度情報社会				
		人・「もの」・資本で結びつく世界	世界の貿易と資本の移動				
			日本の都道府県名に関する小テスト実施【5月連休後】				
	2学期 6～11月	世界の人々の生活を取りまく環境	さまざまな地形の理解と具体例 地形図の活用			28	
		世界的視野からみた地形	山脈・河川・砂漠など基本的な自然地名の小テスト				
		さまざまな地形と生活	ケッペンの気候区分の理解				
		世界の気候区、植生、生活、民族	さまざまな気候の特徴と人々の暮らしの理解				
		世界の生活・文化を支える産業の地域性	農業の発達過程 世界の農業地域				
		鉱工業の発達過程 世界の原材料・資源の分布					
		世界の国名の小テスト実施【夏季休業後】					
3学期 11～3月	世界諸地域の生活・文化と環境	東・東南アジアの地誌 伝統と変化 経済の急成長			20		
	東・東南アジア	南アジアの地誌 農業 宗教と生活 現在の経済発展					
	南アジア	西アジア・北アフリカの地誌 イスラム教と現在の情勢					
	西・中央アジア・北アフリカ	ヨーロッパの地誌 南と北 東と西 E Uの現状と課題					
	ヨーロッパ	ロシアの地誌 市場経済へ 日本との関係					
		北アメリカの地誌 移民国家の形成 農業 鉱工業					
		中央・南アメリカの地誌					
		オセアニアの地誌 多文化国家の形成 資源 南の島々					
		日常生活と結びついた地図					
		地形図表現と利用					
		日本の自然と生活・地誌					
		自然災害と防災					
教科書・副教材 他	『高等学校 地理Aー世界に目を向け、地域を学ぶ』(第一学習社) 『新詳高等地図』(帝国書店)						

評価規準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
授業態度	◎	○	○	○	
小テスト	○		○	◎	
提出物	◎		○	○	
定期考査		◎	○	◎	
評価の重点	授業の取り組み方と、その結果としての定期考査での得点を重点的に評価する				